

2022年度 成長力強化に貢献する質の高い教育

地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業

| (1)連携事業名                          | 子どもが喜ぶ中食・内食の「和総菜」開発を通じた県内産業即戦力育成プログラム   |
|-----------------------------------|---|
| (2)連携している地元産業界等の組織名称              | いとく新国道店   |
| (3)連携事業における地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標 | <p>離乳食完了期以降の子どもの食事について、身体機能や内臓機能が未発達な幼児期の食はとても重要であるにもかかわらず、何を食べさせたらよいのか、あるいはまた、好き嫌いなど偏食に対する適切な対応の仕方などに不安を抱える養育者が多いということが指摘されている。さらには、食物アレルギーの問題などもあり、幼児期の食についてのニーズや課題が山積している。</p> <p>最近では、離乳食であれば調理器具や市販品などが充実してきているのに対して、一方で、幼児期の食については選択肢が非常に少ないという現状もある。内食としての家庭内調理には技術的、時間的な課題も多い。このような社会的ニーズについて知り、その問題解決にあたって学生自身が貢献できることを体験させるために、このプログラムでは中食としての惣菜に着目して取り組むこととした。</p> |
| (4)上記(3)の課題の解決に向けて実施する取り組みの内容     | <p>子どもが喜ぶ惣菜を開発し、新商品化して店頭での販売を目指す取り組みである。開発に取り組む惣菜は、離乳食完了期以降の幼児を対象とする食品である。食育の観点から子どもたちの成長に欠かせない栄養素の適正摂取といった栄養面のみならず、薄味や、硬さ、飲み込みやすさ、そして消化性に優れ、旬や地産地消にも配慮したものとする予定である。あわせて、家庭でできる幼児食レシピの開発も行うこととしている。商品開発に先駆けて、子育て世代の現状を把握するためのニーズ調査を実施して、その結果をもとに商品コンセプトを構築することとしている。また、商品販売後の消費者インタビューなどを実施して、当初の目的が達成できたかどうかの検証を行う予定である。</p>   |

地元産業界等と連携した実践的 PBL を含む授業科目等の開講

| (1)授業科目名             | 体験学習 I   |
|----------------------|--|
| (2)連携している地元産業界等の組織名称 | いとく新国道店  |
| (3)授業等を実施する学部・学科     | 生活文化科  |
| (3)授業等を開講する目的        | 建学の精神が目指す隣人愛を体験に基づいて理解する。他者と関わり、生まれながら与えられているリーダーシップの能力に気づき、地域ネットワークや活動プラットフォームの立ち上げ方を学ぶ。今、重要視される情報発信と地域活性化スキルを学び、助けを必要とする地元の事業や人々と接することを通して、共生社会実現への関心を深め、地域問題の解決に自己の役割に気づく。  |
| (4)授業等の具体的な内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代を対象とする食にかかわるニーズ調査</li> <li>・ニーズ調査の集計と解析結果にもとづく商品コンセプトの確立</li> <li>・レシピ考案と試作評価</li> <li>・プロモーションの企画立案・連携企業への惣菜プロトタイププレゼン</li> <li>・連携企業との商品化検討</li> <li>・家庭でできる調理レシピ集ならびに紹介動画（多言語）の作成</li> <li>・開発商品の店頭試験販売</li> <li>・本学ホームページ等での PR</li> <li>・学生、教職員、附属高校等への PR</li> <li>・協力保育施設等への PR</li> <li>・消費者のヒアリング調査</li> <li>・活動の振り返り</li> </ul> <p>※別紙参照。</p> |

※別紙

|                     |  |  |  |               |
|---------------------|--|--|--|---------------|
| 科 目 名               | 体験学習Ⅰ  |  | 担当者  | Mathew Philip |
| 区 分 等               | 1 年次・通年〔講義・実習〕 1 単位 必修／全学  |  |  |               |
| 評 価 基 準             | ①受講・参加態度、特に地域や施設活動における主体性、積極性（80%）。<br>②活動報告書〔2 回提出〕（20%）。   |  |  |               |
| 課題に対するフィードバック       | 随時、コメントをする。  |  |  |               |
| 目 的                 | 建学の精神が目指す隣人愛を体験に基づいて理解する。他者と関わり、生まれながら与えられているリーダーシップの能力に気づき、地域ネットワークや活動プラットフォームの立ち上げ方を学ぶ。今、重要視される情報発信と地域活性化スキルを学び、助けを必要とする地元の事業や人々と接することを通して、共生社会実現への関心を深め、地域問題の解決に自己の役割に気づく。  |  |  |               |
| 到達目標                | 1. 援助を必要とする事業や人と接するとき、助けの手を惜しまない者になる。<br>2. 共生社会がどれほど実現しているか、地域社会の現状についての知見を得、困難にある人との連帯の可能性を知る。<br>3. 地域の事業者や困っている人と住民を情報で繋ぐことが出来るようになる。<br>4. 活動プラットフォームの立ち上げが出来るようになる。<br>5. 挨拶、礼儀など社会生活上求められることを実行できるようになる。  |  |  |               |
| 履修上の注意              | 1. 単位取得には 1 回の学外イベントの実施（学内）活動が必要であり、学外イベントや所定の施設活動を欠課した場合、その分を補う奉仕活動を行う。<br>2. 木曜午後に授業および活動を 9 回実施。それに加え 1 2 月「クリスマスの日」に学外イベント(学内イベント)を行う。<br>3. 三つのイベントから受講者が<br>生活こども専攻：ロボット活用した子ども向けのイベントを準備し、学内や外部で行う。<br>健康栄養専攻：地域活性化のため秋田の食材を使用してお菓子を作り。<br>生活文化専攻：商店街や NPO などと合同イベントを学内や外部で行う |  |  |               |
| オフィスアワー             | 授業内で紹介。  |  |  |               |
| 授業計画 ※木曜午後「年間計画」参照。 |  |  | 準備学習（予習・復習）の内容および、時間   |               |
| 1                   | オリエンテーションおよび講義「リーダーシップ総論   |  | 国内外で尊厳されているリーダーについて調べ、自分のロールモデルを見つける（1 時間）                                 |               |
| 2                   | 自己リーダーシップについて<br>自分自身や仲間を理解する能力<br>施設活動に求められる心構えと留意点   |  | 今国内外で人が抱えている悩みについて調べ、乗り越えるために求められる心構え調べる。（1 時間）                            |               |
| 3                   | 地域・リーダーシップについて<br>（地域リーダーに必要なスキル）  |  | 秋田の現状と問題点」について調べる（1 時間）<br>担当する施設について調べる。（1 時間）<br>地域の現状と問題点」について調べる（1 時間） |               |
| 4                   | グローバル・リーダーシップについて<br>必要なスキル  |  | SDGs について調べる（1 時間）<br>SDGs を評価し、それをもとに学内外で出来るイベントを作成する。（1 時間）              |               |
| 5                   | イベントのガイダンスと企画  |  | 企画をふりかえり、自己評価し、それをもとに準備をする。  |               |
| 6                   | イベントの準備  |  | 同 上  |               |
| 7                   | 同 上  |  | 同 上  |               |
| 8                   | イベントの実施  |  | なし。  |               |
| 9                   | 事後指導と施設活動報告会のガイダンス   |  | 次回活動報告会での報告・プレゼンテーション内容を検討、準備する。（2 時間）                                     |               |
| 10                  | 活動報告会—活動内容と成果を発表する<br>街頭募金（学内活動）に関する説明   |  | 募金の送り先とその国について調べる（1 時間）  |               |
| 11                  | 街頭募金（学内活動）<br>（「クリスマスの日」に実施）   |  | なし。  |               |
| テキスト                | なし。  |  |  |               |
| 指定図書                | なし。  |  |  |               |

